子育て情報誌　令和４年７月号

実のなる木

北区立西ケ原東保育園
指定管理者社会福祉法人東萌会
北区西ヶ原　３－１９－１１
ＴＥＬ03-3918-8251
ＦＡＸ03-3918-8259
担当　星野

汗ばむような日が続き、夏の訪れを感じるこの頃。夏に備えて十分な栄養、睡眠を確保して、ワクワク楽しい夏を迎える準備をしましょう。

～水や泥への関心～

水遊びや泥遊びが好きな子ども達は多いと思います。子どもの行動には必ず理由があります。水や泥に触れるのも、発達の為に必要なプロセスです。感覚神経を育てる為には、実際に何かを見たり、聞いたり、触ったりしなければなりません。子どもは遊びながら自分の神経を育てているのです。

【～水遊び・泥遊びの効果】

その①　心身ともに開放的になる
⇒水や砂、泥は子どもの身も心も開放してくれる遊びのツールです。夢中になって遊ぶ中で「本来の自分」を表に出しやすくしてくれます。また、開放的になることで、よく笑い、よくおしゃべりをするようになります。

その②　創造力（工夫して作り出すこと）・想像力（思い描くこと）・集中力・忍耐力がつく
⇒土・泥・水、どれをとってもひとつの素材だけで多様に形を変えます。水を加えたり、減らしたりするだけで固さや感触が変わるので、想像力が掻き立てられます。また、崩したり作ったりを繰り返す中で「次はどんな形にしよう」「どんな風に崩れていくんだろう」と想像力や創造力が育まれます。遊びに夢中になることで、自然と集中力や忍耐力も身につきます。

その③　健康な身体をつくる
⇒泥に触れることで、適度な刺激となり皮膚が鍛えられます。泥には雑菌が混ざっていて、その雑菌に対する抵抗力も強くなります。また、視覚や聴覚、味覚、触覚、嗅覚といった五感が発達し、感性を磨くことができます。

その④　仲間ができ、集団行動に馴染みやすくなる
⇒友達と協力し合うこと、イメージの違いから喧嘩になること、そうしたトラブルを経験する中で、今後の人生の壁を乗り越えられると言われています。また、泥遊びを通してコミュニケーション力や他人への思いやりの心、仲間と共に泥遊びをする中で培われていきます。

その⑤　自己肯定感が育つ
⇒「がむしゃらになって遊ぶ」という体験こそが、自己肯定感を育んでいくといわれています。自己肯定感を育むためにも、がむしゃらになって遊ぶという体験を多くさせて下さい。一度、水たまりでぽちゃぽちゃと遊ばせるだけでもいいです。水の音や弾ける水に興味を示し、夢中で遊び、同時に笑顔がどんどん湧いていきます。

【参考資料：「子どもの泥遊びの効果がすごい！心身を育てる泥遊びは、その後の人生に大きく影響する」】

☆家庭でもできる遊びの紹介☆

【キラキラボトル】

〇材料
- ペットボトル（子どもの手で握りやすいサイズ）
- 中に入れるキラキラしたもの（ビーズ、セロハン、ホログラム、アルミホイルなどお好みで）
- 水　　・ビニールテープ

〇作り方
①空のペットボトルにキラキラしたものを入れる。
②水を満たして、キャップをしめビニールテープで留める。

色水で作ってもかわいいです!!

【光る泥団子】

〇材料
- 土　　・水　　・柔らかい布

〇作り方
①土に水を混ぜて丸める。
②乾いた土をかけて形を整える。
③柔らかい布で磨く。

子ども達は丸めて固まるだけで楽しいです！遊びの中で、どうやったら上手く作れるのかを考える事が大切なのです！！